

# 学長表彰、学生部長表彰、 神谷奨励賞の 表彰式、授賞式を挙行

## 学長表彰

女子ビーチバレー選手コンディショニング・トレーナーとしてアテネオリンピックに帯同  
コミュニケーション学部コミュニケーション心理学科3年 久保田真広さん  
TOEIC895点取得  
コミュニケーション学部言語コミュニケーション学科4年 飯島直子さん  
車いすの経路誘導システムに関する研究関連のアイデア論文が愛知のITS優秀賞受賞  
現代社会研究科現代社会専攻博士後期3年 野澤成裕さん、  
同博士前期2年 増岡孝之さん、同博士前期1年 川口理恵さん、  
現代社会学部現代社会学科4年 池田恵梨子さん、同4年 伊藤りささん、同4年 鈴木寛之さん  
第49回全日本学生競技ダンス選手権大会「チャチャチャ部門」優勝  
コミュニケーション学部コミュニケーション心理学科4年 飯沼敏行さん(社交ダンス部)  
文化創造学部文化創造学科環境文化専攻4年 小出由香さん(社交ダンス部)  
第55回三十三間堂大の全国大会成人男子の部優勝  
コミュニケーション学部ビジネスコミュニケーション学科2年 鈴木雅仁さん(弓道部)

## 学生部長表彰

### <個人の部>

ドコモ東海主催第2回FOMAビジュアルコンテストクリエイティブ部門優秀賞  
現代社会研究科現代社会専攻博士後期2年 Dizon Elmina Rayahさん  
日華青少年交流協会、日本アジア航空株式会社主催第19回中国語スピーチコンテスト4位  
など中国語学習への積極的取り組み、留学生へのボランティア  
コミュニケーション学部言語コミュニケーション学科3年 犬飼亮介さん  
愛知万博関係ボランティア 現代社会学部現代社会学科3年 古閑絵美さん  
クラブ連盟役員委員長、副委員長として2年間の活躍  
コミュニケーション学部ビジネスコミュニケーション学科3年 井上有佳子さん  
フェンシング競技で2年連続国民体育大会に出場  
コミュニケーション学部コミュニケーション心理学科2年 藪内圭さん  
レスリング競技で国民体育大会に出場 現代社会学部現代社会学科1年 藤原昂史さん  
環境文化学会運営委員として活躍 学会形成に多大な貢献  
文化創造学部文化創造学科環境文化専攻4年 大高真利子さん  
東海学生テニス連盟主催第7回東海学生チャレンジテニストーナメント大会準優勝などの活躍  
コミュニケーション学部ビジネスコミュニケーション学科4年 浦川真由香さん  
文学部英文学科3年 齋岡桃子さん  
東海学生テニス連盟主催第8回東海学生チャレンジテニストーナメント大会準優勝などの活躍  
文学部英文学科2年 岡崎真衣さん  
文学部英文学科3年 安達直子さん  
中部学生バドミントン選手権大会ダブルスの部3位などの活躍  
コミュニケーション学部コミュニケーション心理学科3年 澤田妙さん  
文化創造学部文化創造学科環境文化専攻3年 西屋綾さん  
東海学生新進テニストーナメント大会シングルスベスト8などの活躍  
コミュニケーション学部ビジネスコミュニケーション学科4年 山田健太さん

### <団体の部>

バドミントン部  
ソフトテニス部  
愛知淑徳合唱団

## 神谷奨励賞

### 文学部

- 国文学科 神原保子さん・英文学科 玉木真実さん・図書館情報学科 該当者なし  
現代社会学部現代社会学科
- 地域社会 三田昌代さん・国際社会 村木友子さん
- メディアプロデュース 石川聖子さん・都市環境デザイン 小澤里佳さん  
コミュニケーション学部
- コミュニケーション心理学科 宮内久美子さん
- ビジネスコミュニケーション学科 鈴木晴香さん・言語コミュニケーション学科 坂 将人さん  
文化創造学部文化創造学科
- 表現文化専攻 藤井亜記さん・多元文化専攻 成田一美さん
- 環境文化専攻 石黒文子さん

3月14日(月)長久手キャンパス  
124教室において平成16年度の  
学長表彰、学生部長表彰、神谷  
奨励賞の表彰式、授賞式が行わ  
れました。  
学長表彰は、毎年すぐれた学  
業成績、研究成果、課外活動成  
績等を修めた学生個人や団体を  
対象とするもので、昨年度は個人  
5人、1グループが小林素文学長  
から表彰されました。  
学部長表彰は、中部、関西東  
海地区大会等で上位入賞の成績

を修めた者、社会奉仕活動等で  
顕著な活動を行った者を対象と  
し、昨年度は、個人11人、3団体に  
河辺泰宏学生部長から表彰状が  
贈られました。  
神谷奨励賞は、各学部各学科  
(専攻、コースを含む)に在籍する  
3年生を対象とし、優れた学習  
研究の成果をあげ、学部長の推  
薦を受けた学生に贈られる賞で  
す。昨年度から神谷基金規程が  
改正され、12人の学生が受賞し  
ました。



学長表彰



学生部長表彰



神谷奨励賞



# SH 高等学校

## 卒業生有志による 卒業ミュージカル



2月23日(水)、高校卒業生が体育館大アリーナにおいて、卒業記念公演としてミュージカルを上演しました。

有志約40名が集い、出演・演出・音響・照明・衣裳・大道具などに分かれ、2学期後半から準備にとりかかりました。上演した作品は、42nd STREET(フォーティセカンド・ストリート)。舞台上に

きる人々の人間模様を描いたドラマに、華麗なダンスと歌が加わったブロードウェイの名作。まるで影絵のようなビル街の背景、お洒落な衣裳の数々、生徒たちが懸命に演じた舞台は、詰め掛けた在校生や保護者の喝采を浴びました。

通称「卒業ミュージカル卒ミユ」と呼ばれるこの公演は正規の学校行事ではないものの、この数年は毎年のように卒業生有志たちによって上演されてきました。今年のメンバーたちは、「勉強を頑張っている友達に迷惑がかからないように」と、様々な配慮をしたり苦心したりしながら、作品を完成させました。観客の心にはもちろん上演した生徒たちの心にも大きなものが残ったことでしょう。

(神尾環)

# U 大学

## 医療福祉学部 言語臨床セミナー開催



1月29日(土)星が丘キャンパスで、医療貢献学科言語聴覚学専攻の主催による第1回医療福祉学部言語臨床セミナーが開催されました。講師は藤田保健衛生大学リハビリテーション学科学科助



教授である岡田澄子先生で、演題は「言語聴覚士が行う摂食・嚥下リハビリテーション」でした。

言語臨床は失語・高次脳機能障害から、言語発達障害、聴覚障害、発声発語障害と幅広く行われています。近年、摂食・嚥下障害も対象となり、臨床現場では言語聴覚士に期待されるものが

日々大きくなってまいります。

岡田先生は東京都老人医療センターや筑波大学で研鑽を積まれ、この新しい学問領域の第一人者です。当日は嚥下・摂食の治療につながる評価の枠組み・治療の原理と具体的な方法・チーム医療について言語聴覚士の立場から明快に話され、質疑に対しても豊富な臨床歴から丁寧に応答されました。愛知・岐阜・部長野の言語聴覚士と学生合わせて146人が2時間に渡る講演を熱心に聴講しました。引き続き多目的教室で開催された懇親会にも48人が参加し、先生への質問の続きや情報交換や親睦を活発に行いました。

(言語聴覚学専攻 加藤正子)

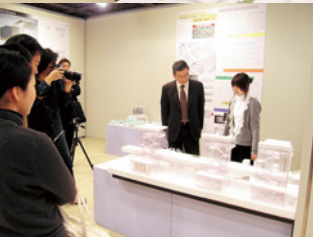
# U 大学

## 現代社会学部 都市環境デザインコース 卒業研究展2005



2月15日から19日にかけて、名古屋市民ギャラリー栄において都市環境デザインコース卒業研究展が開催されました。昨年より広い会場で、制作29点、論文17点、修士論文1点のパネル模型が展示されました。今年はいすの制作も3点を数え、大きな模型も展示されるなど、卒業研究展らしい雰囲気を出していました。

初日には専任、非常勤講師にゲストを交えた講評会が行われ、



卒業制作から4点、論文から3点の優秀作品が選ばれ、表彰式が行われました。講評ではテーマの選定やプレゼンテーション形式の並列化を指摘する意見も聞かれましたが、1年間の作業の成果が評価された学生たちは、入賞者もそうでない学生も様に晴れやかな表情でした。

5日間の期間中に来場者はほぼ600人を数え、一般来場者からも好意的な反応が多くありました。また、来年卒業制作を行う後輩の学生たちにも大勢訪れ、次年度に始まる自分たちの制作にいい刺激になったようです。

# U 大学

## 地震防災研究の 特別講義開講



ケンブリッジ大学  
ロビン・スペンス教授

阪神淡路大震災10周年を記念して各国から著名学者が来日しました。ケンブリッジ大学ロビン・スペンス教授(英国)がその折に来

名され、本学において、ケンブリッジ大学における地震防災研究」と題する特別講義をお願いしました。「都市防災論」(太田裕担当)受講者に加えて、都市環境デザイン関連教員も出席し、貴重なお話を聞くことが出来ました。

(現代社会学部教授 太田裕)

# 講演会 報告

## LECTURE



### SAKURA氏を招き 表現文化学術講演会

第5回表現文化学術講演会が星が丘キャンパス5A教室にて1月13日に開催されました。表現文化専攻の発足以来、年1回のペースで行われている催しで、CGクリ



クター、映画プロモーターなどをお招きして、映像もまじえた特色ある講演会となりました。今回の講師は日本人で初めてパリコレのステージに立ったモデルであり、コスメジャーナリストとして雑誌に多数の連載もお持ちのSAKURAさん。単身日本を旅立ちパリコレのステージに立つまでの道程、有名デザイナーとの出会い、モデルとしての身体表現の工夫、コスメジャーナリストへの転機、その仕事の意外な裏話など、盛りだくさんの内容を颯爽とした立ち居振舞いと軽快な口調で話して下さいました。

さらに学生のファッション・チツクやボーシングの指導もして頂き、学生からの矢継ぎ早の質問にも気さくに、しかもとても丁寧にご答えて下さり、充実した90分でした。(表現文化専攻 角田達朗)

### 図書館情報学科が 昨年度5回の講演会

文学部の図書館情報学科では平成16年度に5回の講演会を開催しました。学部生に対しては『図書館について学ぶ』というシリーズで、第1回は慶應義塾大学の須賀千絵先生に、日本の公共図書館について英国と比較しながらその課題と将来についてお話をいただきました。第2回は国立国会図書館の徳原直子氏に日本の図書館を代表する国立国会図書館の最新事情を詳しくご説明いただきました。第3回は山形大学図書館の加藤信也氏に大学図書館における電子ジャーナルの導入についての問題点をお話いただきました。学部生の図書館への興味

と関心は強く、多いときには200人の参加がありました。次に大学院生に対しては、『メタデータについて学ぶ』というシリーズとして、メタデータを日本にご紹介くださいました筑波大学の杉本重雄先生にタブリンコアを中心にメタデータの説明をいただきました。さらにメタデータ教育開発センターの三輪真木先生には、教材のためのメタデータの開発についてお話をいただきました。大学院生だけでなく教員、公共図書館員、大学図書館員の方々の参加も得まして、有意義な講演会となりました。(図書館情報学科 菅野育子)

### スクールカウンセラーの 古井景先生を講師に PTA講演会開催



古井景先生

2月23日(水)、PTA講演会が本校の大会議室で開催されました。講師は愛知淑徳大学教授で、本校でもスクールカウンセラーをお願いしている古井景先生です。当日はPTA研修部の方に受付、司会、講師紹介をお願いし、129人の父母の方々の参加を得て、明るく華やいだ雰囲気の中で会が進行了ました。

最近では子供の成長にとって困難な事態があちこちで生じ、父母の方々も悩みを抱えているよう

ですが、古井先生はその問題を解き明かし、何をどうすればよいか、また社会に有為な人間になるための必須の条件とは何かを明快に示されました。

古井先生からの、人から教わるのではなく自ら課題を見つけ、解決の方法を発見し、解決のための努力をすることが人には求められている。人から言われた通りに行動することから来るストレスや重圧が現代人を蝕んでいるというお話は、今後の学習活動には是非生かしていきたい指摘でした。

古井先生は講演終了後も1時間以上にわたり、研修委員の方々の質問に丁寧に答えてくださいました。(坂東進)

### 3学科共催による 「合同講演会」開催



東京大学「東洋文化研究所」の濱下武志名誉教授

1月17日(金)、長久手キャンパスで大学院異文化コミュニケーション専攻、ビジネス学部言語コミュニケーション学科主催による合同研究会が開催されました。講師は中国経済史の世界的権威である東京大学「東洋文化研究所」の濱下武志名誉教授で、演題は「日中経済・文化交流の現状と未来」。

な経済発展の背景と、中国の抱えるインフラ的問題点、隣国である日本との交易の歴史の経緯、現状今後の見通しなどについて、詳細な統計数値をもとに、興味あるタイムリーな内容の講演で聴衆を魅了しました。

濱下武志名誉教授は、演題は「日中経済・文化交流の現状と未来」。

質疑応答のセッションでは、中国沿岸地域に限定された経済特区と内地域における一般市民の生活水準の格差、現在の中国経済の持つ勢いの独自性、将来の人物交流の発展の可能性など多くの質問に、濱下教授は丁寧に回答してくださいました。

本青也主任教授の司会による開会の辞の後、異文化コミュニケーション専攻のジョリー幸子主任教授より講師紹介がありました。講演の中で濱下教授は、今日の中国のIT関連製品、車両、家電製品、衣料品の生産、輸出などの急速

なお合同講演会は、異文化コミュニケーション学会中部支部が共催したこともあり、濱下教授は講演後、同学会主催の創立10周年記念パーティーにも主賓として出席されました。(ジョリー幸子)



筑波大学の杉本重雄先生